

地層処分レポート

高レベル放射性廃棄物等の
地層処分事業について
ご紹介します。

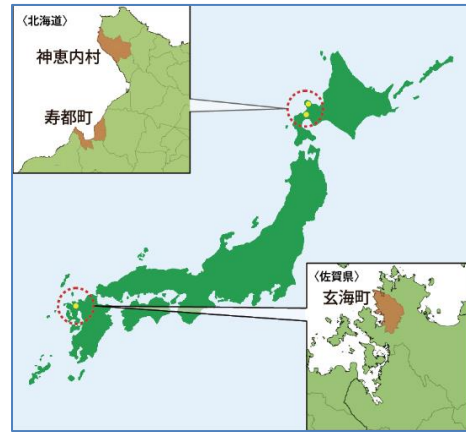
NUMO
原子力発電環境整備機構

2024年 秋特別号

NUMOは、2020年11月から、^{すつちよう かもえないむら}北海道の寿都町と神恵内村において文献調査を実施しています。今年11月末からは両町村を含めた北海道内で「法定説明会」を開催いたします。また、今年6月からは、^{けんかいちよう}佐賀県玄海町でも文献調査を実施しています。

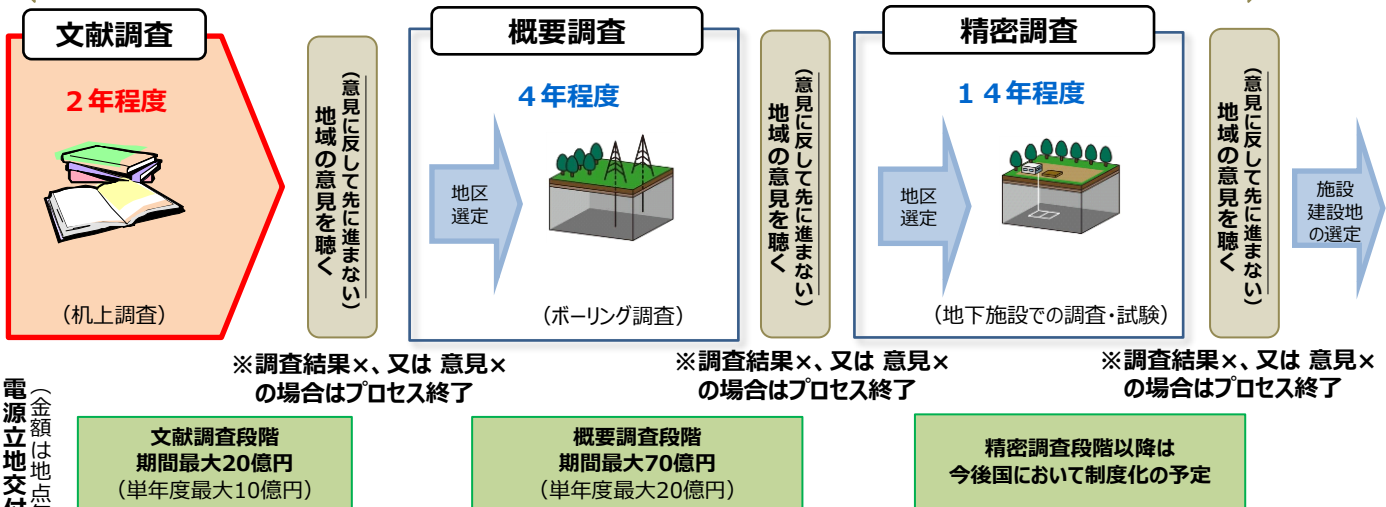
文献調査とは、地層処分事業に関心を示していただいた地域に、事業を深く知っていただくとともに、さらなる調査(概要調査)を実施するかどうかを検討していただくための材料を集める、事前調査的な位置付けです。

本号では、寿都町の「シンポジウム」や神恵内村の「対話の場」の開催状況、寿都町および神恵内村の文献調査報告書に関する手続き、玄海町の理解活動の状況等をお伝えいたします。



処分地の選定プロセス

20年程度の調査期間中、放射性廃棄物は一切持ち込まない



電源立地交付金
(金額は地点毎)

地域には、長期間にわたって地域共生事業の成果をはじめとして、雇用や税収等、さまざまな波及効果が見込まれます。

「シンポジウム」「対話の場」を開催

「対話の場」は、地域の皆さまに、関心のあるテーマについて地層処分事業への賛否に偏らない議論をしていただき、その議論を通じ、議論に参加しない地域の皆さまにも広く地層処分事業について、関心を深めていただくためのものです。

寿都町

● 地層処分に関するシンポジウム
(2024年11月15日) 後援: NUMO

町民の皆さまから「多様な専門家の見解を聴きたい」との要望を受け、3人の専門家をお招きし、「地層処分に関するお考え」をお伺いしました。

当日は、138名の町民の皆さまが聴講されました。

- 岡村 聡 (北海道教育大学 名誉教授)
- 竹内 真司 (日本大学 文理学部 地球科学科 教授)
- 伊藤 聡子 (キャスター 事業創造大学院大学 客員教授)



提供: 寿都町

神恵内村

● 第20回「対話の場」
(2024年10月3日)

NUMOから文献調査の進捗と概要調査のあらましについて説明を行いました。また、テーブルワークでは「文献調査と概要調査」「まちづくり(社会基盤整備、観光等の産業振興)」の2つのテーマに分かれ議論いただきました。



【主なご意見やご質問】

- 「次の調査への移行について、村長と知事の意見が異なる場合はどうするのか」
- 「養殖体験の場や水産学校などを併せた複合施設を建設したらどうか」
- 「観光で訪れた人が居続けてくれるための、まちづくりも必要」

寿都町・神恵内村における文献調査の手続きについて

～ 寿都町および神恵内村を含めた北海道内で「説明会」を開催いたします～

NUMOは法令に基づき、2024年11月22日に寿都町および神恵内村における文献調査の報告書および要約書を、寿都町長、神恵内村長および北海道知事へ送付しました。また、同日、文献調査報告書の「公告・縦覧」「意見の受付」も開始し、説明会の開催を公表いたしました。

説明会の開催状況および文献調査報告書はこちら



文献調査の流れ

文献調査開始

文献・データ収集

評価

報告書作成

報告書を
知事・町村長に送付

公告(※1)・縦覧(※2)開始

意見の
受付

説明会
の開催

報告書に関する意見の概要とそれに対する見解を知事・町村長に送付

意見に配慮し概要調査地区の候補を選定

実施計画の変更承認を経産大臣に申請

経産大臣から知事・町村長に意見聴取

聴取結果を踏まえて経産大臣が概要調査に進むかどうかの判断

公告では報告書の縦覧場所と縦覧期間、縦覧期間中に道内で開催する説明会の開催日時・会場をお知らせしております。また、報告書の内容についてのご意見は、意見書のご提出により受け付けています。

※1 公告：報告書等の縦覧、説明会開催、意見書の提出について官報や新聞等の掲示又は電子公告によって告知すること。

※2 縦覧：文献調査報告書を誰でも閲覧できるようにすること。



説明会は寿都町・神恵内村と14カ所の総合振興局・振興局毎に開催し、文献調査報告書の内容をご説明いたします。

NUMOは引き続き、最終処分の実施主体として住民の皆さまへの丁寧な説明に努めてまいります。

開催日

開催場所

11/30(土)

寿都町

12/6(金)～12/7(土)

神恵内村

12/12(木)～2/19(水)

14総合振興局・振興局



知事及び町村長の意見を十分に尊重することとしており、その意見に反して先へ進みません

玄海町における文献調査開始後初の「ジオ・ラボ号」出展

NUMOは、**11月9～10日に佐賀県玄海町で開催された「エネIKU2024」でジオ・ラボ号を出展しました。**

「ジオ・ラボ号」は、地下処分場のイメージを迫力ある映像や壁面展示によって、楽しく学べる地層処分展示車です。

二日間で延べ900名の方がご参加され、多くの方に地層処分について関心を持っていただき、ご好評をいただきました。



ジオ・ラボ号



NUMOでは、全国のできるだけ多くの地域で、地層処分事業に関心を持っていただき、文献調査を受け入れていただけるよう、引き続き取り組んでまいります！